



菩提寺の大銀杏（勝田郡奈義町）

撮影 徳田名誉院長

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

Topics

不整脈に対する

『カテーテルアブレーション』

不整脈に対する

『カテーテルアブレーション』

津山中央病院 循環器内科 主任

山田 隆史

専門領域

・循環器内科一般 不整脈

専門医・指導医

- ・日本内科学会認定内科医
- ・日本心血管インターベンション治療学会認定医
- ・日本循環器学会認定循環器専門医
- ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医
- ・リードスペースメーカー植込み資格



当院は岡山県北唯一の不整脈専門医研修施設として治療に取り組んでいます。

不整脈とは心臓の調律の異常、心拍が不規則になった状態をいいます。不整脈は、脈が速くなる「頻脈」、脈が遅くなる「徐脈」に分けられます。治療の必要が無い不整脈も多くありますが、動悸や息切れといった症状を引き起こすもの、心不全や脳梗塞などの合併症の原因になるもの、突然死を引き起こすものには治療が必要となります。

不整脈のなかにも様々な種類がありますので、まずはきちんと診断して病状に応じた治療を選択することが必要です。

†カテーテルアブレーションについて

カテーテルアブレーションとは、アブレーション治療用のカテーテルで不整脈を起こす原因となる異常な電気興奮の発生箇所を焼灼し正常な脈に戻す治療法です。カテーテルアブレーションは不整脈の中でも、脈が速くなる「頻脈」に対して行います。

†カテーテルアブレーションの適応となる不整脈

心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍、心房頻拍、心室頻拍、期外収縮などの不整脈を治療することができます。成功率は不整脈の種類によって異なり、2回以上の治療を要する場合があります。

†心房細動について

カテーテルアブレーションの中でも近年件数が増えているのが心房細動です。

心房細動とは、本来は一定のリズムで動く心房が、無秩序に電気活動をしてけいれんしている状態をさします。そのため規則的な脈ではなく、不規則な脈となってしまいます。動悸などの自覚症状で困るだけでなく、脳梗塞や心不全を引き起こし、生命を

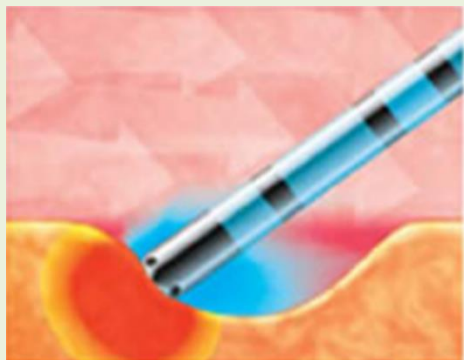
脅かすこともあります。加齢が最も大きな原因なので、高齢化が進む本邦の患者数は増加しています。そのほかには高血圧、糖尿病、慢性腎臓病、睡眠時無呼吸症候群、甲状腺機能異常などの病気がある場合には起こりやすくなります。肥満、大量飲酒、ストレスが発症の引き金となることが多いと言われています。

†心房細動アブレーションについて

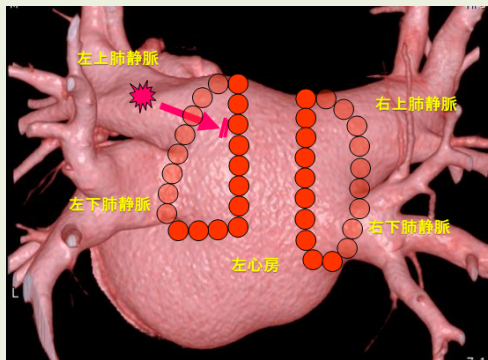
1998年に肺静脈という肺から血液を心房へ届ける静脈に、発生の主たる原因となる部位があると報告されました。それ以来、肺静脈を心房から電氣的に隔離することで心房細動を抑制する治療法が飛躍的に発展をとげました。心房細動の初期段階と言える発作性心房細動であれば非再発率90%と高い成績をあげています。

†心房細動アブレーションの治療法

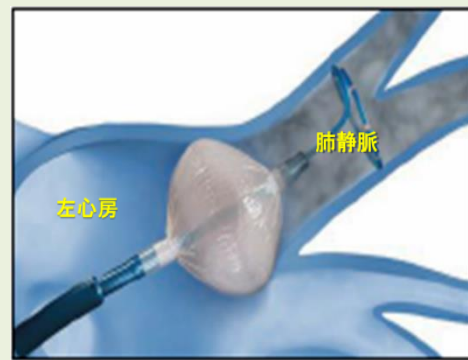
カテーテルアブレーションでは、高周波というエネルギーを用いて心臓の筋肉の一部を焼灼する方法(図1、2)とクライオバルーンというバルーン(風船)の中に冷凍ガスを注入し接触した心筋組織を凍結する方法(図3)と2種類あります。どちらの方法も成績に違いは無く、お互いに異なる強みがありますので、術前の検査で患者さんに最適な方法を当院で選んで使っています。



(図1)高周波による
アブレーション



(図2)アブレーション
治療後のイメージ



(図3)クライオバルーン
によるアブレーション

†最後に...

不整脈と一言で言っても、何種類も病名がありそれぞれに治療方針は違います。放置してもいいものもあれば、早急な治療を要するものもあります。まずは早期発見して適切な診察を受けることが大事です。自分は今まで病気をしたことが無いと思っても、心房細動は加齢とともに発症リスクが上昇します。まずは、検脈(自分の指で心拍を確認)や定期的な心電図検査を受けることが重要です。不整脈を指摘されどうしたらいいかお悩みの際はお気軽に水曜日の不整脈外来へ受診ください。

セミナー・講演会情報

●CCセミナー（Web併用のハイブリッド形式） ※日本医師会生涯教育制度申請予定

特別講演 『支持療法が変える！がん薬物療法』

- ・講師 香川大学医学部 臨床腫瘍学講座 教授 辻 晃仁 先生
- ・日時 2023年11月8日（水）18：30～20：00
- ・場所 津山中央病院 健康管理センター3F 記念ホール

●医療安全推進研修会 ※日本専門医機構認定共通講習（医療安全）

講演 『院内自殺の予防・対策について』

- ・講師 津山中央病院 臨床心理士 林 明日香 先生
- ・日時 2023年11月10日（金）17：45～19：00
- ・場所 津山中央病院 健康管理センター3F 記念ホール

●CCセミナー（Web併用のハイブリッド形式）

講演 『一緒に考える川崎病のQ&A』

- ・講師 小児科 部長 坂田 晋史 先生
- ・日時 2023年11月14日（火）19：00～20：00
- ・場所 津山中央病院 研修センター2F 講義室

●岡山救急医療研究会 第24回学術集会

特別講演 『劇的救命を目指して ～病院前・院内での対策～』

- ・講師 公立豊岡病院 救命救急センター長 永嶋 太 先生
- ・日時 2023年12月9日（土）13：00～17：00（12：30～受付開始）
- ・場所 津山中央病院 健康管理センター3F 記念ホール



制吐療法学術講演会 CCセミナー

日時 ▶ 2023年11月8日(水) 18：30～20：00
会場 ▶ 津山中央病院 健康管理センター3階記念ホール
形式 ▶ ハイブリッド形式（会場+ZOOM用いたWEB同時配信）

座長 **神崎 洋光 先生**
一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 内科部長
化学療法副センター長

一般演題
18：30～19：00 「津山中央病院における制吐療法の実際」
【薬剤師の立場から】
演者 **江草 太郎 先生**
一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 薬剤部 専門副部長
外来がん治療専門薬剤師

【看護師の立場から】
演者 **大谷 孝代 先生**
一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 看護部 副部長
がん化学療法看護認定看護師

座長 **林 同輔 先生**
一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院 院長

特別講演
19：00～20：00 「支持療法が変える！がん薬物療法」
演者 **辻 晃仁 先生**
香川大学医学部 臨床腫瘍学講座 教授

※日本医師会生涯教育制度 CC（1.0単位 10：チーム医療、50：呼吸・嘔吐）を申請予定です。
本講演会はZoomウェビナーにてWEB開催いたします。
PC・スマホ・タブレットでの視聴が可能です。
※事前の参加登録が必要となります。詳細は裏面をご覧ください。
共催：美作医会/大野薬品工業株式会社



岡山救急医療研究会 第24回学術集会

テーマ
劇的救命を目指して ～病院前・院内での方策～

特別講演
「劇的救命を目指して ～当センターの病院前・院内での方策～」
永嶋 太 先生
(公立豊岡病院 但馬救命救急センター長)

2023年
12月9日【土】
13時～17時(12時30分受付開始)

会場
慈風会記念ホール
〒708-0841 津山市川崎1756
津山中央病院管理センター 3階

第24回学術集会 会長
前山 博輝
津山中央病院 救命救急センター長

共催：岡山県

＜プログラム＞
12：30～ 受付開始
13：00～13：05 開会式
13：05～13：10 総会
13：10～13：55 一般演題
13：55～14：40 指定演題
14：50～15：45 シンポジウム
15：55～16：55 特別講演
16：55～17：00 閉会式

＜お案内＞
事前申込：不要
参加費：岡山救急医療研究会 会員：無料 非会員：1,000円
対象者：医療従事者、救急隊員等救急医療関係者

＜学術委員会事務局＞
津山中央病院
企画調整グループ 長木
岡山県津山市川崎1756
TEL：0868-21-8111 FAX：0868-21-8200

ご視聴には**事前登録必須**

下記 URL または二次元コードからお申込みください

https://zoom.us/webinar/register/WN_v8pufBEWYazTOBvRAUmbA



事前申込不要

参加費 岡山救急医療研究会 会員：無料・非会員：1000円

対象者 医療従事者・救急隊員等救急医療関係者